

マイクロロガー C-CR1000



特 徴

C-CR1000はC-CR10Xの後継機で、プログラム可能な多チャンネルのフィールド用データロガーです。太陽電池など、豊富なオプションを用意していますので、無電源地域における長期計測が可能です。スイッチがなく、計測中でも通信が可能。プログラム可能で内部演算ができるので、省電力の計測制御、メモリーの有効活用が可能です。拡張性が高く、多チャンネルの計測も容易です。印可電圧のコントロールができるので、ほとんどのセンサーが、変換器なしに直接接続できます。単チャンネル多地点の測定には、別にC-CR510という、経済的な少chロガーをご用意しています。

C-CR10Xとの違い

メモリーが標準で4MB / 通信ポートが2つある / アナログSEchが16ch / 入力レンジが $\pm 5000\text{mV}$ / 熱電対測定のための冷接点補償用サーミスターが内蔵 / CFカード対応(オプション)

基本仕様

インターバル	0.01秒(10ms)~30分(10msステップ)
記憶容量	標準:4MB(単精度200万データ)プログラム領域:512kB
インターフェイス	COM1:CSI/O COM2:RS-232C(アイソレートされていない) 通信速度 300~115.2kbps 1stop 8data None パラレルI/F:40pin、CFカード外部記憶、拡張機器用
時計精度	温度補正付、 ± 3 分/年(-30-85)、 ± 15 分/年(-55-85 XT)
内部プログラム	同時にいくつかのインターバル測定可能 各種算術計算、統計計算(最大、最小、平均など)風のベクトル演算、 センサー・機器の制御コントロール
電 源	9.6~16VDC(通常12VDC供給、逆接保護付) スリープモード:0.5mA以下、0.6mA(1Hz)、7mA(100Hz)
大 き さ	本体:239Lx102Wx61H 重量:1kg
動作環境	-25~+50(標準) -55~+85(XTタイプ)
プログラム言語	CR-BASIC(従来のEdlogではないのでご注意ください)
サポートソフト(オプション)	CS-Loggernet 3.0以後:プログラム作成、データ回収、リアルタイムデータグラフ表示 多地点データ自動回収(スケジューリング機能あり)など

入力・出力仕様

アナログ入力	SE16ch(差動8ch) 13bitA/D アナログ入力レンジ ± 2.5 、7.5、25、250、2500、5000mV 分解能 0.672、6.7、66.7、667、1330 μV 50/60Hzフィルター使用時のノイズレベル 0.19、0.58、1.9、19.2、95.9、192 μV 精 度 0.06%(0-40)、0.12%(-25-50)、0.18%(-55-85 XTのみ)
パルス入力	24bit2ch(接点入力モード:無電圧 open:6ms、close:5ms、 高周波モード:250kHzmax、 $\pm 20\text{Vmax}$ 、low<0.9 high>2.2V 低周波 ACモード: $\pm 20\text{Vmax}$ 20Hz(20mV)~20kHz(5V)
アナログ出力	3ch($\pm 2.5\text{V}$)分解能 0.67mV $\pm 25\text{mA}$ 精度 $\pm 0.15\%$ (-25-50) $\pm 0.25\%$ (-55-85 XTのみ)
常時定電圧出力	1ch(5V固定)
コントロール電源	1ch(12V)、その他12V 2ch
デジタルI/O	8ポート、SDM(3ポート使用)、SDI 4ch 接点入力:150Hzmax、高周波入力:400kHz、 出力電圧:high:5V $\pm 0.1\text{V}$ 、low:<0.1V、low:出力抵抗330、 入力電圧:high:3.8~5.5V、low:-0.3-1.2V、入力抵抗100k

拡張仕様(オプション)

- C-CFM100:拡張I/Fに接続して、CFカードへのデータ保存を可能にする
- C-CR1000KD:CR1000の計測データ、ポート状態を表示・変更するキーボードディスプレイ
- C-LLAC4:デジタルポートに接続して、AC4ch入力を拡張(風速用)
- C-CR10X用のオプション機器はSM4M/SM16M/CR10KDを除き全て使用可能です。